

**第3回 橋本市生涯学習推進計画策定委員会  
会議録**

開催日時	令和7年6月2日（月）10:00～11:40
開催場所	橋本市教育文化会館3階 研修室
出席者 （委員）	・佐藤委員（委員長）・土田委員・滝上委員・岸田委員・坂部委員・今西委員 ・戸島委員（副委員長）・向委員・犬伏委員・井上（稔）委員・岡委員・丸山委員・川原委員・井上（恵）委員 【出席委員14名】
欠席者	・玉置委員・北本委員
事務局	教育委員会生涯学習課 長谷川課長、藤本課長補佐、井元地域教育係長、海堀スポーツ係長、内藤文化係長、藤田主査 （株）ジャパンインターナショナル総合研究所：中村洋司、中村容子
次第	1. 開会 2. 委員長挨拶 3. 委員紹介 4. 議題 （1）橋本市生涯学習推進計画団体アンケート調査報告について （2）第2次生涯学習推進計画施策体系について （3）ワークショップの開催について （4）令和7年度スケジュールについて （5）その他 5. 閉会
資料	（当日配布資料） 資料1 橋本市生涯学習推進計画策定委員会条例 資料2 橋本市生涯学習推進計画策定委員会 委員名簿 資料3 橋本市生涯学習推進計画団体アンケート調査報告 資料4 第2次生涯学習推進計画施策体系（案） （橋本市生涯学習推進計画・橋本市スポーツ推進計画：施策抜粋） 資料5 ワークショップ実施概要（案） 資料6 生涯学習推進計画年間スケジュール（案）
公開/非公開	公開
傍聴者	0名
その他	なし

## 【議事要旨】

### 議 事 の 経 過

発 言 者

発 言 内 容

#### 1. 開会

(事務局) 本策定委員会の開催については、資料1にある「橋本市生涯学習推進計画策定委員会条例」第7条第3項において、「委員会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない」とされております。

本日は委員16名のうち、14名のご出席をいただいております。過半数に達していますので、策定委員会は成立していることを報告いたします。

(事務局) 本日の議事については、非公開とする案件を含まない為、公開とさせていただきます。宜しいでしょうか。

(異議なし)

本日の傍聴人については0人です。

#### 2. 委員長挨拶

(委員長) おはようございます。昨日は選挙で、皆さん選挙事務など大変だったと言っていたのを聞いております。お疲れの残るところ、お集まりいただきありがとうございます。

生涯学習、社会教育上では、みんなで話し合う、みんなで地域を決めるために、選挙に行きなさいなど、よく授業で取り扱っています。これも生涯学習、社会教育の1つだと思って皆さん選挙にのぞんでいたのだと私は思っております。

今日もよろしく願いいたします。

(事務局) 次に、委員紹介に移ります。お手元の資料2をご覧ください。

令和7年4月の人事異動に伴い、行政委員の変更がありましたのでご紹介します。

(事務局) 本委員会の委員長は、条例第7条第2項の規定によりお願いすることになります。以降の進行は委員長にお願いいたします。

#### 3. 議題

(1) 橋本市生涯学習推進計画団体アンケート調査報告について

(委員長) 本日の議題(1)橋本市生涯学習推進計画市民アンケート報告について事務局より説明をお願いします。

(事務局) 資料3をもとに説明

(委員長) 私の方から2つ質問があります。1つ目は公民館使用回数が月4回までという点と、2つ目はWi-Fiの整備がされていないという点についてです。

(委員) 今、委員長からご指摘のあった公民館の利用回数が月4回というのは、条例、規則では定めていないと思います。

- (委員) 公民館を利活用する中で、そのように回数を指定いただいているのかと思います。
- 改めて、この文章を全部読ませていただいて、サークルさんも団体さんも、それぞれ一生懸命活動されているのを感動しました。
- それを行政に支えていただくには、先ほどあった Wi-Fi 設備整備のこと、公民館使用料の減免、緩和措置が令和 8 年で切れると思うので、もう少し継続することが望ましいというのを感じました。
- (事務局) ありがとうございます。橋本市というのは、公民館での活動、地域の団体での活動が活発に行われているという声は、他の自治体にお住まいの方等からお聞きします。
- これは本当にありがたいことですし、皆様のご協力のおかげだと思っております。
- (委員) 感想ですけれども、1 ページの有効回収率っていうのが 70.6%と、橋本市のアンケートの回収率にしては高い方かと思いました。なんでか、と考えた時に、活動されている施設が公民館で 70.3%が大きいと思います。利用者が日常で公民館を身近に感じて、生活の一部になっているということが考えられます。利用回数も週 2 回で月に 2、3 回と高いので、身近に公民館があると感じているのだろうと想像します。
- こうしたことを踏まえ、こう改善したいとか、こうしてほしいという思いがすごく詰まっているのかと感じました。
- 60 代、70 代の利用率も高く、ご自身の楽しみの一部になっているのではないかと勝手に想像していました。
- 自由記述も皆さん熱心に書いていて、これだけ数が多いのは本当にすごいと思いました。
- この中で出てきた問題点は沢山あるかと思うのですが、行政の方でこういうことが耳に入っている、直接陳情があったというのほどまで把握されているのかと思いました。
- こうした課題を行政がこれからどうしていくかというところにも繋がっていくのかと思います。
- (事務局) 回収率の高さは、単に、一般のアンケートのように郵送するだけでなく、普段公民館を利用されている団体さんに直接声を掛けて、対面で渡しているところが多く、そうすると、アンケートの回収率は高くなると思います。そして、公民館の職員さんにだいぶご協力を頂いています。
- もちろん団体さんにも協力いただいたけかと思います。
- また、自由記述のところでも色々声が上がってきているのも存じ上げています。この中には、以前から言われているところも多々あるかと思いますが、こんな意見もあったのか、というのがあります。行政も聞いたことあるなどというような声が改善されていない、という点があるかもしれません。
- (事務局) 補足ですけれども、このアンケートについては公民館さんのご協力いただいて収集させていただいております。
- 団体のアンケート報告については、公民館さんにお渡ししておりますので、公民館の方でも本アンケートで指摘された内容をもとに、今後の対応に努め

ていただけるものと考えております。

(委員長) 自由記述の中で、財政支援に関して多く記載がありましたけども、そもそも社会教育法では公民館は無料であるとしてあるので、そこをどのように橋本市で運用するかというのはご検討いただけたらと思います。

(委員) このアンケートの結果では、公民館を利用されている方がほとんどで、さらに20年以上利用されている方が5割程度いらっしゃる。その会員さんの状況が、高齢化や会員が減少している、というのが極めて多い。

これが今の公民館の現状なのかと思っています。

この状況を改善しようと思うと、どういうやり方がいいのか、行政主導、または地域の住民さんからの働きかけが必要なのか、おそらくその両方が必要になってくると思います。

そして、なぜその公民館の活動が活性化してないのか、というところをもう少し掘り下げて、行政と地域の方々がこう連携取りながら、しっかりその要因を突き詰めて、そこを改善していく必要があるのかと思っています。

ただ、正直なかなか難しいとは思いますが。ご多忙であったり、若い人が参加できる行事やイベントがないといったところに行きつくかもしれないのですが、市と地域の協働を進める立場の職員なので、その活動の内容を知ってもらうところが大事だと思っています。

どうPRしていくのか、情報を出していくのかというところをしっかりと努めていきたいと思うので、委員会の方とも連携しながらやっていきたいと思

(委員長)

ます。  
私も、他のいろいろなところで、リーダーがいない、講座をどうやって作ればいいのか分からないという話を聞きます。

こうしたことを受け、リーダーを作る、講座を実施するなど、そういう事例もあります。

(委員)

(委員) 前の質問と重なるのですが、Wi-Fiの設置は難しいのでしょうか。

昨年、内部ではアクション起こした経緯もあります。しかし、総合的な編成ということで現状となっています。この生涯学習推進計画の会議で、アンケートで実際こういう意見が出たということであれば、頂いた意見をもとにしてお話を内部でさせてもらえたらと思います。

(委員長)

現状、Wi-Fiは公民館に設備されてないのですが、今日のこの意見を貴重にさせてもらえたらなと思います。

(事務局) (2) 第2次生涯学習推進計画施策体系案について

(委員) 資料4をもとに説明

私の方で資料作らせてもらいました。橋本市の良いところと書いた1枚ものです。施策体系のもう1段階前の段階のことをここでお話し合いできたらいいと思い、思ったことを書かせていただいています。

「橋本らしさ」というのを自分の中では大事にしたいなと思っていて、いくつかあげさせてもらいました。

それがあつての生涯学習の方向性なんじゃないかということで、意見を挟ませていただきたいと思います。橋本市の良いところを5つ用意しました。

今日の団体アンケートでも、公民館の存在が大事ということで、公民館のことや、すごく活発に活動している団体もたくさんあり、多くの活動をしていて、そういうところが橋本市のいいところじゃないかということをおっしゃっています。

これは私が考え出したことだけなので、抜けているところもあれば、スポーツ面の方が薄いのかもしれないですし、生涯学習推進計画のここを売りにしていこうよといったことをあげたいなと思っています。

こうしたことをみんなで共有した上で政策体系に入っていけたらいいのじゃないかと思っています。

(委員長) 頂いたご意見も含めて議論していきたいと思います。

(委員) この資料4や別紙などを含め、皆様からご意見いただけたらと思います。

大切にしていきたいところは、ちゃんと大切にしていけないと私も感じています。

この資料4を見るに伴って第1次橋本市生涯学習推進計画抜粋を見ますと、ちょっとずつ前回計画と変わっているな、というところがあります。

現在の施策体系案である「連携を目指した仕組みづくり」は、これだけだと、どこどここの連携を目指しているかが分かりにくいと感じました。

これが市民と行政なのか、行政内だけなのか、連携ってどこの連携なのかなっていうところに疑問を感じました。

また、共通項目のところ「情報発信」が項目になっていますが、発信だと一方向だけになってしまうので、情報共有、提供といった、みんなで分かち合うといった、そうした表記にしてもらいたいと思います。

(委員) 単純に行政からこういう情報あります、であれば今までと多分変わらないと思うので、市民側からも動きやすい、市民と行政同士、市民同士で協働できるような情報の提供の仕方と情報共有の仕方があってもいいのかと思いました。

生学習推進計画は、すごく間口が広いのは皆さん共通の認識だと思っています。一市民としては、こういう事は計画のここに載っているのではないんですか、と説明しやすいものであればいいと思います。

すでに全て網羅して言葉に表すことは厳しいですが、資料4の推進目標が「人づくりはまち全体で行う」のは、誰が人づくりをするのかよく分かりません。

次の基本理念も、「人が育ちあう共育のまちづくり」は誰がするのか、と言った時には、市民からしたら行政というし、行政は、条例もあるわけだからみんなでしょ、というふうになってくると思います。

総合計画の施策項目32番、生涯学習の中には「さまざまな年代の人が」という文言がある中で、連携した方が総合計画と関連していいのではないかと思います。

「様々な年代の人が集い」といった言葉を足した方が分かりやすいのではないかと思います。

(事務局) 現状の内容はあまりに抽象的な気がします。それをもう少し詳細に記載した方が、委員も分かりやすいのではないかと思います。

ご意見の中で、主語が分かりにくいってということだと思います。

どこが連携するとか、誰が行うのとか、そういうところがあるので、様々な年代の人だけなのか、立場も含めるのか、年代と立場というのがあるということですね。

(委員) 立場というのは、計画や体系に記載するのはあまり見られないのですが、代案があればすごくありがたいです。

(委員長) 他の生涯学習計画の中には主語が入っているものもあり、いい案だなと思っていました。ちょっと今すぐ代案は出てきません。

(事務局) 質疑が飛んでしまったので、まとめます。1つ目は施策の方向性のところに第1次計画だと4つあげられていて、年代によって進められていますが、資料4だとまとめられていて、それはどうかという点。2つ目は、施策の方向性について、連携ネットワークを目指す新たな行政の枠組みづくりと記載があるが、連携はどことするか。3つ目が、共通項目の情報発信だと、一方通行だから共有ではどうかという話があったんですが、事務局のお考えはいかがですか。

1つ目について、項目が一部減ったのは、前回委員会で、委員さんからご指摘があったため、まとめさせていただきました。そして、生涯学習推進計画及びスポーツ推進計画の方でも、同じ内容については、共通項目という形でちょっと別立てさせていただいた形になっております。

(委員) 3つ目については、情報発信は、一旦案という形で、こういう形で出させていただいております。委員、専門各位で、共有や提供という文言にした方がいいというのであれば、その名称や内容で進めていけたらと思っております。

その年代に合わせた社会教育の取り組みが少しずつ変わってくるのではないかと個人的には思っています。そこにはちゃんと筋が通っていないと社会教育にはならないのかな、という勝手なイメージです。

ですので、施策体系の表記を統一しても、他の記載でと補っていくのであれば、それはそれでいいかもしれないと思います。そうではない場合は、ちゃんとここで、こういう時期にはこういうところ目指しましょうという、目指すべきところは書いておいた方がいいのではないかと感じています。

(事務局) 施策体系の文言を変えただけで、その中身自体が変わってなかったら、結局同じことなので、その中身に合わせて題目、方向性を決めていけたらいいのではないのでしょうか。中身を変えてなかったら意味ないですし、中身が伴っていなかったら記載の意味はないため、その整合性が必要なのではないかと感じています。

ありがとうございます。ご指摘の通りと事務局も考えております。

あくまでも施策体系につきましては、ある意味、目次といった形で表記させていただく形で、中身が重要になってきますので、基本的には、施策体系が決まって、中身をまた組み立てていく形にはなります。

副委員長がおっしゃられましたように、中身につきましては次回という形にはなりますけれども、そこらへんをできる限り網羅する形で記載させていただけたらとは考えております。

(委員) 委員の皆様から、こういう方向性を前に出していたら、橋本市としての1つの形、顔になるのではないかというような形をご提案いただけたら助かります。

橋本市の生涯学習計画なので、橋本市のオリジナリティが必ず入ってなかったらダメだと思います。

橋本らしさという表現をされましたけど、そこをどうするんだろうということを考えます。

先ほど出された団体アンケート、これは読んで、すごくたくさん意見を持っていて、この形で表現しているのは貴重な資料だと思います。

それをこの計画の中にどう反映させていくのかという中で、橋本らしさが出てくるのではないかなと思いました。

(事務局) ただ、これをこの場で時間をかけて論議するのは多分難しいと思うので、別の勉強会などで課題とか成果とか、それをもう少し丁寧にまとめていった方が、そうすることで橋本らしさが表現できてくるかと思いました。

ここでない場、というのが難しいと思うのですが、想定されているのは、勉強会みたいな、ということでしょうか。

本日、ほぼ全ての委員さんが出席していただいております。全ての委員さんのいないところで案を作って、検討委員会に資料を提出するという、そういう流れになるかと思います。

(委員長) そういう場を開くことは可能かと思うんですが、そこは、集まった人だけで決めてしまっているのか、勝手に事務局ではそこまでなかなか決めにくいので、皆さんのそういう同意があれば、進めていけるのかなとは思いますが

先ほどの話を少し整理しますと、1つ目の施策の方向性が変わっている、変わっていないという話については、おそらくこれは計画の目次になるというふうに事務局から連絡が、お話がありました。

(委員長) 目次のところにまとめた場合、その下の項目で、委員のご意見等を反映させたものを作っていくというのが今後望ましいと思われませんが、よろしいですか。

(異議なし)

2つ目については、皆さんからお話が出ました、この計画を立てるときに橋本らしさが非常に重要であるということがご意見で出ました。それをどのように反映させるのかということについて、この委員会では時間も限られていることもあり、有志が集まって、勉強会なり意見交換会なりをするというご意見がありました。

委員会外にはなりますが、この委員の関係者で、もしくは事務局も入れて勉強会をやるということについてのご意見いかがでしょうか。

(委員長) 別途時間をとって開催について話し合うということです。以前の社会教育委員会議の提言、第2期への提言というのがあり、そのなかに市民計画策定に市民が参画することで、生涯学習の当事者であることを再認識するとともに、生涯学習にかけかけて考えるきっかけとなり、学びにつながり (中略) 市民と協働により策定されることを望みますと記載があります。皆さん、いかがでしょうか。

(特になし)

(委員) ここで同意が得られましたら、あとは事務局と有志の調整になりますので、  
(委員長) いかがでしょうか。

調整をして勉強会が設定されても良いかについてご意見をお願いします。

(事務局) 私は、機会があればいいなと思います。

その勉強会で出た意見は、最終的にこの委員会で決定するというところでいいでしょうか。

(事務局) 最終的にここで決定するに変わりはありません。

### (3) 第2次生涯学習推進計画施策体系案について

資料4をもとに説明

(委員) ワークショップというのが、おそらく皆さんが考える市民参加の1つだと  
(事務局) 思います。この方法で良いのか、どのような成果が出るのかなどあると思いますので、ご意見いただけたらと思います。

(委員) ワークショップの回数ですが、1回ということでしょうか。

(委員長) 4回を考えています。現在の施策体系の目標や方針の4つをそれぞれテーマに開催させていただければと思います。

(事務局) 日時、場所はいいんですけども、時間が概ね90分ということで短いのではないのでしょうか。もう少し時間を増やしてもいいかと思っています。

人数によってはこれでいいのかもしれませんが、大人数だと少し大変ではないかというのが印象です。参加想定はどの程度でしょうか。

(委員長) 今のところ、その目標人数というのはまだこちらでは設定しておりません。委員長おっしゃるように、ちょっと人数が多すぎると、このスケジュールでは厳しいということであれば、例えば20人なら成り立つのかと、40人まで大丈夫とか、そういうの、もしアドバイスいただければと思います。

(委員) 人数が集まらないと多くの意見、多様な意見が拾えないのではないかと  
(ジャパン総研) うのが個人的な見解です。

説明資料の説明をお願いします。

ワールドカフェを今回させていただきます。先生がおっしゃっていただいたように、人数、結構、何人来ていただいても対応は可能となっておりますけれども、入れるスペースがなかったり、集めていただくのにとってもやっぱり人来ていただくのが大変だと思いますので、大体1テーブル、4人掛けで5テーブルぐらい来ていただけたらいいかなと考えております。

大体20名前後を想定です。

ワークショップで抽出する内容ということで4つの項目をあげているんですけども、実際実施する際には、第1希望と第2希望お伺いしていきながらテーマを決めていきたいと考えております。

このテーマで話したくないという方もおられると思いますので、皆さんのご希望に沿った形で聞いていきたいと考えています。各テーブルに分かれていきながら議論をしていきます。

ワールドカフェの狙いといたしましては、1つの項目で議論を進めていくことはもちろんですけれども、違うテーマで話していきながら共通項も拾わ

していただきたいと考えています。

おそらくそれが、委員様から上がってきて出していただいた橋本市らしさ、本市の特徴にもなっていくかなと考えておりますので、しっかりと集約していきたいと考えております。

よくワールドカフェはワードの出し合いで終わってしまうんじゃないかということ言われるんですけど、当社では最後、まとめシートというものをご用意し、今日1番印象に残ったキーワードであるとか印象に残ったフレーズなどを書いてもらいます。

(委員長) これが橋本市の生涯学習、スポーツを進める上でのキーワードだということを抽出していこうと思っており、分析を行っていききたいというふうに考えています。

(事務局)

場所の制約があれば、大きなところを使えばいいと思ってしまうのですが、いかがでしょうか。別の制約はあるのでしょうか。

場所に関してなんですけども。例えば、この部屋でテーブルを多分4つ以上にすると、隣の音がすごく入ってきてやりづらいのかと思います。

(委員) これよりも大きな部屋はありますけども、じゃあそれで100人入るかっていうと、それは無理だと思います。40人も厳しいかと思う。

部屋でやるとどうしても音がこもるので、大人数というのは難しいかと思っています。

(事務局) 皆さんご存じのように、「すこやか橋本まなびの日」では、サブの体育館で150人程でワールドカフェをやっています。やろうと思えば体育館でもできると思います。また、ウェブみたいな形でファシリテーターの話の聞くということも可能なわけですから、人数ありきで、テーブルありきというのは考えを変えてほしいと思います。

(事務局)

体育館等と有料の施設を借りるのはなかなか難しいですが、部屋を開けてそこでウェブでつながっていくのはできるかもしれません。

ただ、発表の時だけウェブで繋いで発表していただくという形になるのか、その議論するところは、時はその画面越しの議論というのは、多分やりにくいと思います。

対面で話し合いをして、そのあとそれを共有するのにウェブでというのは可能かと思っています。

(委員) 想定20人というのは少ないなと思いました。橋本市で公民館は8館。つまり20人というのは1館2～3人程度ぐらいの参加でしょうか。

各公民館から例えば3人ずつ集まったとしても、目的にあるよう、人々がつながるよう、様々な立場から意見やアイデアを検討する機会としますというのであれば、もっと人数を大きく設定しとかないといけないのではないのでしょうか。

その3人でいい意見でないとは言いませんが、いろんな角度からいろんな物事を見るっていう時にやっぱり人数が欲しいところです。

20人という設定は低すぎないかと思っています。

また、目的のところに生涯学習推進計画という文言が一言も入っていないのに対して、議論するのは難しいのではないかと心配になります。今現状を

このテーマで話し合ってもらえるのか、このテーマのこれからを見据えて話をしてもらえるのか、それによっても、その意見をの出し方が変わってくると思いますし、どういう答えを想定してこのテーマを設定しているのかというところはちょっとお聞きしたいなと思います。

(ジャパン総研) まず、参加人数につきましては、必ず20名想定というわけではなくて、先ほど事務局からもありました通り、参加いただくのであれば、参加していただく人数で、全然問題はないと思っています。

事務局の方で活用できる、施設の問題があるかと思っていますので、そこはまた詰めていきたいと思っています。イメージとして、1テーブル4人掛けの、座っていただきまして、誰もが会話をしていただけるような、意見を出していただけるような手法を考えております。

1テーブルに8人、10人座っちゃうと絶対喋れなくなってしまいますので、基本的にたくさん意見を出していただくような形で実施していきたいと考えております。

それが2ページ目に載ってる内容となっております。

テーマにつきましては、もう1度改めて考えていくということももちろんあるんですけども、いただく意見といたしましては、現状と今後どうしていくか、どういう展開をしていくことによって計画が推進していくかというところ、ぜひ伺いたいなと思っています。しっかりと現状を皆さんに議論していただいたのに、最終的には今後の方向性というところを意見出していきたいと考えております。

(委員長) 人数については、ワールドカフェは何人でもできるものですから、これはなるべく多く多様な意見を取り入れるように検討いただくというのがいいような気がしますが、いかがでしょうか。

(特になし)

(委員長) 人数に対して実際にグループワークを何回するかは、調整の方お願いしたいと思います。

また、1館でワークショップを実施するということですが、こちらはいかがでしょうか。

(特になし)

(委員) 職員さんのワークショップは考えられてないのでしょうか。住民側の考え方と職員さんの意見も聞けたらいいのと思います。

(事務局) 職員で別にワークショップをするというのは今考えておりません。

ただ、このワークショップの中に職員が参加するのを止めることももちろんありません。今この委員の中にも、部長3名、中央公民館長、学校教育課長、教育総務課長もおりますので、そういう意見は委員の方から言っていただきたいと思っています。

(委員長) 今後のスケジュール策定の話にも関わるとしますので、ワークショップをやること自体は合意が取れたと理解してもよろしいでしょうか。

(特になし)

(委員) 参加者の募集の方法、広報はどうお考えでしょうか。

(事務局) 市の7月広報は間にありません。基本的には、ワークショップは7月末か

ら8月中旬ぐらいを目処に行いたいと思っております。

広報は基本的にはホームページまたは各公民館長、公民館さんをお願いをして、SNS、LINEなど、そちらの方で出していきたいと考えています。

(委員) 私の考えでは、おそらくなかなか、参加してくださいと言っても市民の方に募集をかけてもなかなか人は集まりにくいだろうなと思います。

各地区公民館でサークルの代表者の方とか出てきてもうたら人が集まるしやりやすいだろうな、ということも考えて、場所なり声かけの方法はそんな形になっていくだろうなと思います。

せっかく広くアンケートをとったので、広く集まってもらえるその方法っていうのを事務局の方で考える必要があるかと思います。

(事務局) 広報は、8月号でなければ間に合わないため、8月から参加していただけたらいいかと考えています。

(委員長) 広報はしもとは1番みんなが見ているところなので掲載していただけたらと思います。もしくは簡単なチラシかなんかを作ったらどうかと思います。電子データだと町内で共有できますし、簡単な白黒でワードでもいいので、そういうのがあればいろんなところで共有できるかなと、コピーして使えばできるので、と思います。

#### (4) 令和7年度のスケジュールについて

(事務局) 資料5をもとに説明

(委員長) 第2回で通算4回で素案が出てくるということは、ドラフトみたいなものが出てくるっていう理解でよろしいですか。

(事務局) 策定委員会の政策体系につきましては、ちょっと勉強会で考えていく形になります。

施策体系についてはまだ決定しておらず、案という形にはなるんですけど、現状に基づきまして、事務局としましては次回で提案させていただきたいと考えております。

(委員) 施策体系等について勉強会をします。もうその時には素案ができています。それで大丈夫なのかと不安になりました。そしたら、自分たちで勉強したことを2回の時に言わしてもらおうけども、素案は出来上がっているということでしょうか。

(事務局) 計画策定の延ばしてしまうと時間的になかなか難しいものがあります。まだほんとに修正はできるかもしれませんけども、提案、そこである程度の形として提案していただくことになると思います。

(委員) 資料についての質問です。6月、7月で職員アンケート集計、ヒアリングシートの記載というのは何でしょうか。

(事務局) ヒアリングシートにつきましては、第1次計画にも基づきまして、各関係各課の方に第1次計画の進捗状況と課題等を今記載していただいている状態です。

職員アンケートにつきましては、先ほど委員さんからもありました、職員のワークショップは行わない代わりにアンケートの方で全職員に対してできたらいいかなという形で今考えています。

それを、そこら辺を踏まえて素案を作る形にはなってくるんですけども、施策体系の方は基本的に今決まっています。

ですので、早い段階に案を、勉強会させていただきまして案を策定していただき、その案に基づいて素案を作らせていただくという形にはなると考えております。

(委員)  いつの議会でこの計画を通す予定なのでしょうか。

(事務局)  来年3月を予定しています。

(委員長)  今、職員アンケートの話が出てきましたが、その結果は我々には知られることでしょうか。

(事務局)  現在検討中です。

  市民アンケート、団体アンケートの方を集約させていただいております。

  それを職員向けにちょっと抽出させていただいて、どの内容で実施しようかと検討している状態です。そこでおそらく課題とかもするのであれば出てくるとは思います。

  そこはまた委員長と相談させていただいて、委員会の方に報告した方がいいという話になれば、報告させていただく形を考えています。

(委員長)  ワークショップを実施と書いてありますけど、中央公民館の開催になったということで理解してよろしいですか。

(事務局)  公民館に許可をもらわないといけません、その予定で動いています。

(委員長)  スケジュールについては柔軟性を持って動いていくということでよろしいでしょうか。

(事務局)  そのように考えています。

#### (5) その他

(事務局)  事務局の方から1点、今回の生涯学習推進計画の方に載せるか、現状分かりませんが、スポーツ庁の方から令和4年に学校部活動の地域連携、地域クラブ活動への地域移行のガイドライン等が出されました。

  このことにつきましては、学校教育と生涯学習が連携しないと成り立つことが難しいところです。

  現在、教育委員会としまして、令和8年度を目途に、この件について検討しているところでございます。

  事務局としましては、今後、生涯学習の方にもクラブ活動の地域移行ということが出てくる可能性もあり、今回の計画掲載については不明ではありますが、委員の各位におかれましてはお心に留めていただきまして、またご意見等々あれば言っておいただけたらと考えておる次第です。

(委員)  クラブ活動の地域移行をどのように進めようとされているのかは、ご説明いただける段階でしょうか。

(事務局)  どのように進めていくのか自体を、教育委員会の事務局の中で会議を始めたところで、そこまで至っていない状況です。

  今月の30日、職員だけでなく、体育協会の方と、スポーツ少年団の方の指導者の関わっている方に案内をして勉強会をしようかという状況です。まだ手探りの状況で、来年度、橋本市の方針を作りたいと考えている状況です。

今年は調査とか研究とか勉強会を中心にしていきたいと考えています。

(委員長) 兵庫県の方で、地域移行ではなく、社会移行という名前を変えて、営利団体に丸投げして推し進めている自治体があり、反対する会や、市民運動が出ているので、橋本ではうまくやっていただきたいと思います。

このほかございませんでしょうか。

(特になし)

本日の議事を終了いたしますので、事務局にお渡しいたします。

## 5. 閉会

(副委員長) 最近暑かったり寒かったり、体調の管理が難しい日々が続いておりますけれども、活発な議論がこれからも続いていけばいいなと願っております。

今日はありがとうございました。

(事務局) ありがとうございました。

それでは、これをもちまして令和7年度第1回橋本市生涯学習推進計画策定委員会会議を終了させていただきます。

本日は長時間ありがとうございました。今後とも、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。